

雑草イネ(赤米)を 発見したらご相談ください！

機械での土の移動等により、突然出現する事例もあります！
根絶に向けて地域全体で取り組みましょう！

雑草イネの混入により、

①等級の低下②減収③作業受託の拒否④農作業の手間の増加
などが問題になります。

- 穂を手で握ると、**脱粒**するのが雑草イネ共通の特徴です！
- 雑草イネを発見したら以下の「問い合わせ先」までご一報ください！



赤米の混入に
要注意！



草丈が高いイネ
を見たら要注意！



畦間や株間、水田の
出入り口（馬入れ）
での発生に要注意！

対策1 薬剤防除

- 効果のある成分の除草剤を使う。
- 3剤体系での防除が重要！
- 雑草イネが出芽して第一葉が伸びてからでは除草剤の効果はない。

※詳しくは、JA又は農村支援センターにお問い合わせください
また、JA上伊那 栽培指針・指導会資料もご覧ください

対策3 秋起こしをしない

- 粃を凍死させる。
- 鳥・虫に、食べさせる。

対策2 抜き取り

- 畦間・株間のこぼれ苗を抜く。
- 出穂が早い株、遅い株を抜く。
- 草丈が高いイネを抜く。

対策4 転作による畑地化

- 2年以上畑地化する。

**雑草イネを発見したほ場では3～4年継続して、除草剤対策と
耕種的対策（対策2～4）の両方を取り組みましょう！**

問い合わせ先

JA上伊那北部営農センター（☎ 0265-79-0636）

JA上伊那中部営農センター（☎ 0265-96-7925）

JA上伊那南部営農センター（☎ 0265-81-1105）

上伊那農業農村支援センター（☎ 0265-76-6841）

雑草イネ(赤米)の特徴

上伊那地域では主に3種類の雑草イネが発生しています。
雑草イネは「穂を手で握ると脱粒する」という共通の特徴があります。



例えば、ご自身の水田に、このようなイネが数株ありませんか？



穂を手で握ると
ぽろぽろと脱粒する



芒（のげ）が
赤色で長い



籾の先が赤くて、
成熟するのが早い



これらすべて雑草イネです！

- 雑草イネは8月上旬頃から出穂し、出穂後2週間程度で脱粒し始めます。
- 抜き取り作業等の対策を行わないと、**脱粒した籾が土中で3～4年間生き、発生し続けます**
(※対策は、JA上伊那 栽培指針・指導会資料も併せてご覧ください。)
- **早期**に発見し、**対策**をすることが、一番手間をかけず安価に済みます！

雑草イネを発見したら以下の「問い合わせ先」までご一報ください！

問い合わせ先

JA上伊那北部営農センター (☎ 0265-79-0636)

JA上伊那中部営農センター (☎ 0265-96-7925)

JA上伊那南部営農センター (☎ 0265-81-1105)

上伊那農業農村支援センター (☎ 0265-76-6841)